

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 周術期静脈血栓症予防の再検討

[研究責任者] 形成外科・医師 藤原 光平

#### [研究の背景]

形成外科の周術期において、術後合併症を避けるための安静は術式によっては必要不可欠な要素です。しかし時に深部静脈血栓塞栓症を合併しリハビリの遅延や肺塞栓など重度の塞栓症状を発症する場合があります。

当科では 2017 年に、血栓症発症予防のプロトコール（術後翌日から抗血栓薬の再開 or 術後 2 日目からのヘパリン化）を作成し施行しましたが、介入前後で深部静脈血栓症発症の減少は認めませんでした。以降、術後 3 日間以上安静を要するものは離床前に全例下肢血管エコー検査を実施する事で対応してきた背景があります。

#### [研究の目的]

本研究では、過去 1 年間の当科での入院、手術診療において術後安静期間と塞栓症の有無について検討し有効な血栓予防法を行えていたのかを考察するため後ろ向きに研究を計画します。

#### [研究の方法]

##### ●対象となる患者さん

静脈血栓症の患者さんで、西暦 2023 年 1 月から西暦 2023 年 12 月の間に長崎医療センターで血栓症の治療を受けた方

##### ●研究期間：倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日

##### ●利用するカルテ情報

カルテ情報：

- ① 入院時の臨床所見（年齢、性別、身長、体重、ボディマス指数、日常生活動作、既往歴）
- ② 静脈血栓症リスク因子（手術、麻酔、妊娠、経口避妊薬、副腎不全薬（ステロイド）
- ③ 離床前超音波画像所見（静脈血栓の部位と有無）
- ④ 術後安静期間

##### ●検体や情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター  
形成外科 藤原 光平  
電話番号：0957-52-3121（代表）